

# JVA REPORT

# 12

'16 DECEMBER  
NO.179

## MAIN REPORTS

- 市場活性化キャンペーン  
記念日制定イベントおよび  
「11月3日はビデオの日」の報告
- ビデオレンタル店実態調査結果報告  
～DVD貸出枚数は減少傾向、  
新作・準新作の貸出料金は下げ止まり感～

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW

一般社団法人 **日本映像ソフト協会** 会報



記念日制定イベントおよび『11月3日はビデオの日』の報告	2
ビデオレンタル店実態調査 結果報告	5
第359回、第360回定例理事会開催報告	7
jmd 映像データベース作品登録状況	8
第12回eメディア部会定例セミナーを開催	8
2017年度新入社員合同研修会開催のご案内	8
「文化芸術立国の実現に向けた総合取組の推進へ(仮題)(答申(素案))」 への意見を提出	9
不正商品対策協議会	10
コンテンツ海外流通促進機構	11
2017年新年賀詞交歓会開催のご案内	12
西日本賀詞交歓会開催のご案内	12
2017年 重要会議・行事日程	12
リレーエッセイ(122)	13
日誌に見る協会の動き	13
事務局人事	13
月間売上統計(9月、10月)	14

<http://www.jva-net.or.jp/anti-ripping/>

サラリーマン 山崎シゲル  
× 日本映像ソフト協会  
アンチリッピングキャンペーン DVDのリッピングは違法です!  
知っていますか?

# 市場活性化キャンペーン 記念日制定イベントおよび「11月3日はビデオの日」の報告

去る11月1日（火）13時30分より、飯田橋の『神楽座』（KADOKAWA）において、『11月3日はビデオの日～おうちでエンタメ！』の記念日制定のPRイベントが開催された。当日は30媒体48名のマスコミ関係者が出席した。

冒頭、主催者挨拶にたった「ビデオの日」実行委員会の島谷能成委員長（JVA会長・東宝代表取締役社長）は、「ビデオ市場は長らく減少傾向が続いているとはいえ、2015年には4000億円以上の市場となっており、映画興行の2倍の規模がある。映像視聴環境が劇的に変化している中でまだこれだけの市場を維持しているのは、ビデオソフトならではの魅力を消費者が感じているからだと思う。この市場を元気にすることで、新しい作品に挑むクリエイターたちに還元し、エンタテインメント業界を更に盛り上げていきたい。また、JVAの会員社のみならず、レンタル、セルを含め業界が一丸となってキャンペーンのためにひとつになった。これはすごいこと」と

意気込みを語った。

続いて、実行委員の川合史郎委員（JVA理事・20世紀フォックスホームエンターテイメントジャパン(株)社長）が、自社作品の『タイタニック』を例に、パッケージで見られるもうひとつのエンディングについて熱く語り、パッケージならではの魅力をアピールした。また、セル店でもこの日に合わせて販促キャンペーンが実施されていることや、映画館でもDVDやブルーレイを販売する試みが進んでいること、「ビデオの日」を告知するシネアドを7大都市を含む映画館で告知上映されていることなどを発表した。

さらに、「ビデオの日」実行委員会に参画しているCDVJの梶喜代三郎副理事長が登壇し、11月3日には全国のビデオレンタル店において新作を含め全品100円のキャンペーンを実施する旨が告知され、11月1日からテレビで放映されているキャンペーン告知CMを発表した。



▲「ビデオの日」キャンペーンについて熱く語った島谷会長



▲ビデオならではの特徴を語る川合理事



▲全国のビデオレンタル店での実策を発表する梶CDVJ副理事長



▲7大都市を含む32館の映画館で「ビデオの日」告知CMを上映



▲会場受付ではひつじのショーンと黄金騎士ガロ翔がお出迎え

このあと、「ビデオの日」実行委員会の委員（JVA理事及びCDVJ理事）が一堂に会し、「11月3日はビデオの日！」を高らかに宣言し、業界の一体感を演出した。

そして続く第2部では、今回のキャンペーンの核となるツール『ビデオで観るべき100選』の選者の一人、『日経エンタテインメント!』誌編集委員の品田英雄氏と、キャンペーンアンバサダーをお勤めいただいたタレントの中川翔子さんが登壇し、司会の伊藤さとりさんとともにビデオの魅力や『100選』作品について熱いトークを展開した。中川翔子さんは、「一人っ子で育ったことから、いつもそばにビデオがあり、知識や人間力を高

めるための経験値を与えてくれた」と語り、ビデオ好きだけあって、ビデオにまつわる興味深い話が次々と披露された。また終盤には、ゴジラや貞子、ひつじのショー、黄金騎士ガロ翔、デッドプールなど、ビデオ業界ならではのバラエティ豊かなキャラクター達が登場し、「ビデオの日」のキャンペーンキャラクター、ビいくんと共に、最後に記念撮影をして終了となった。

この模様が、翌日11月2日（水）のNHK総合『おはよう日本』でも放送され、キャンペーンの告知に多に寄与した。



▲JVAとCDVJ理事も登壇し、全員で「11月3日はビデオの日!」と発声



▲『100選』について語る品田英雄氏(右)と中川翔子さん(中央)。左は司会の伊藤さとりさん



▲ゴジラと貞子が乱入!



▲バラエティ豊かなキャラクター達との記念撮影

## ■東京国際映画祭とのコラボレーションについて

11月3日に先立ち、10月25日～11月3日の間開催された東京国際映画祭においても、「ビデオの日」キャンペーンとのコラボ企画として、映画祭が実施されている東京六本木の『六本木シネマアリーナ』の無料上映会において、『ビデオで観るべき100選』から5作品が選ばれ上映された。上映作品は下表のとおり。



▲六本木シネマアリーナの無料上映会会場



▲「ビデオの日」のコラボ上映

開催日	上映開始時刻	作品名
10月26日(水)	15:00	ゴーストバスターズ 協力:ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
10月27日(木)	15:00	トップガン 協力:ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
10月28日(金)	15:00	愛と青春の旅だち 協力:NBCユニバーサルエンターテインメント
10月30日(日)	12:00	スタンド・バイ・ミー 協力:ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
10月30日(日)	15:00	フラッシュダンス 協力:NBCユニバーサルエンターテインメント

■11月3日のビデオレンタル店やセル店、劇場販売について

11月3日には全国のビデオレンタル店において全品100円のキャンペーンが実施された。またセル店においては、「ビデオの日」をはさんでの一定期間、『100選』を中心としたセールを開催するなど様々な企画が展開された。劇場（映画館）においても、ビデオソフトの販売コーナーを拡げる目的で、すでに実施している劇場以外に新たに20館に販売用什器を新設し、劇場来場者とのタッチポイントを増やした。

本キャンペーンについては、12月14日（水）に会員社向けの中間まとめ報告会を開催し、その後、会員社からの意見を集約、1月に予定されている臨時理事会に最終報告される予定。



▲キャンペーンホームページ内の「レンタル全品100円」の告知



▲新たに劇場に設置されたビデオソフトの販売什器



▲CDショップ店頭でのキャンペーン展開



▲11月3日、レンタル店内にできたレジ待ちの行列



▲レンタル店店内の告知フラッグ



▲レンタル店内セルコーナーでのキャンペーン告知



▲CDショップでの「ビデオの日」の展開

## ビデオレンタル店実態調査 結果報告

～ DVD 貸出枚数は減少傾向、新作・準新作の貸出料金は下げ止まり感～

マーケット調査委員会ビデオレンタル店実態調査グループ（森口和則委員長 松竹株）は、本年6月に実施した「ビデオレンタル店実態調査」についての結果をまとめた。今回で30回目となる本調査は、JVA個人向けレンタルシステム加盟店を対象に毎年アンケート調査を行い、経営状況等の把握を継続的に試みている。

2004年以降、貸出料金は下落傾向であったが、新作・準新作においては2012年を下限として4年連続で上昇した。一方で、貸出枚数は2013年以降減少傾向が続いている。

本年の調査結果の概要は以下のとおり。本調査結果は報告書にまとめ（A4版34頁）、会員社をはじめ回答をお寄せいただいたレンタル店、関係団体等に配布した。なお、一般にも有料で頒布している。また、サマリーをJVAのホームページでも公開している。

[http://www.jva-net.or.jp/report/shop-survey\\_2016.pdf](http://www.jva-net.or.jp/report/shop-survey_2016.pdf)

### 調査実施概要

調査対象	JVAレンタルシステム加盟のレンタルビデオ店 (ネットレンタル及び自動レンタル機器によるレンタルを除く)
調査時期	2016年6月
調査方法	郵送アンケート方式
調査対象期間	2015年6月～2016年5月の1年間
調査票送付数	2,379票 (回収率 20.8%)
有効回答標本数	495票
調査主体	一般社団法人 日本映像ソフト協会
集計分析	株式会社 文化科学研究所

表1.各調査項目の平均値

2016年( )内は前年比											
ビデオレンタル部門の月平均売上	総売上	520.9万円(99.4%)									
	DVD/BD	DVD 494.5万円(98.3%)					BD 28.0万円(118.1%)				
レンタル実施率		100.0%					96.4%				
売上対前年比別店舗数構成比	100%未満	87.6%									
	100%以上	12.4%									
平均レンタル料金(税抜価格)単位:円	平均レンタル料金(DVDとBDの区別なし)										
		新作			準新作			旧作			
		料金	前年差	回答数	料金	前年差	回答数	料金	前年差	回答数	
	当日料金	284	+2	(395)	268	+3	(105)	151*	-23	(35)	
	1泊2日料金	324	±0	(420)	300*	+5	(50)	135*	-38	(18)	
	2泊3日料金	379	+2	(425)	305*	-21	(42)	133*	-21	(33)	
	一週間料金	438	-18	(366)	278	±0	(457)	114	-10	(460)	
延滞料金	256	+7	(457)	254	+7	(454)	248	+12	(455)		
月平均貸出枚数	枚数	DVD					BD				
		31,617枚(95.9%)					1,453枚(121.4%)				
月平均仕入	金額(万円)	DVD					BD				
		175.3万円(91.2%)					9.9万円(87.6%)				
在庫	枚数	DVD					BD				
		58,618枚(104.2%)					1,964枚(113.5%)				
店舗面積	店舗総面積	247.6坪(102.4%)									
	レンタル部分面積	86.4坪(100.5%)									
会員数	総数	15,452人(96.6%)									
	男性	57.3%									
	女性	42.7%									

\*回答数が少ないため参考値

## <調査結果の概要>

### ●月平均のレンタル総売上は520.9万円、前年比99.4%と前年並み

レンタル面積別でみてみると、100坪未満の中・小規模店は前年比102.5%(467.1万円)であったのに対し、100坪以上の大規模店は前年比94.0%(625.8万円)と落ち込みがみられた。

売上規模別店舗構成比をみてみると、300万円以上400万円未満が11.6%から18.9%に上昇したのに対し、400万円以上600万円未満が45.5%から39.8%に減少している点が特徴的な変化である。(図2)

DVDレンタルが494.5万円、ブルーレイレンタルは28.0万円という月平均売上金額となった。(図1)

### ●ブルーレイレンタルの展開はDVDと比べ小規模な展開が続く

BDレンタル実施率は96.4%で6年連続の増加となり、レンタル部分の面積規模別に見ても100坪以上の大規模店で98.1%、100坪未満の中・小規模店でも95.3%といずれも95%を超える割合で実施されている。ブルーレイの月平均貸出枚数は1,453枚で前年比121.4%、月平均売上は28.0万円と同118.1%、平均在庫は1,964枚で同113.5%、月平均仕入枚数は67枚で同106.3%と拡大する傾向にあるが、DVDと比較しても、在庫数で3.4%、月平均貸出枚数で4.6%、月平均仕入枚数で3.2%、売上金額で5.7%に留まっており、実施規模はDVDに比べるとまだ小規模に留まっている。(表1)

図1. メディア別の月平均レンタル売上金額の推移

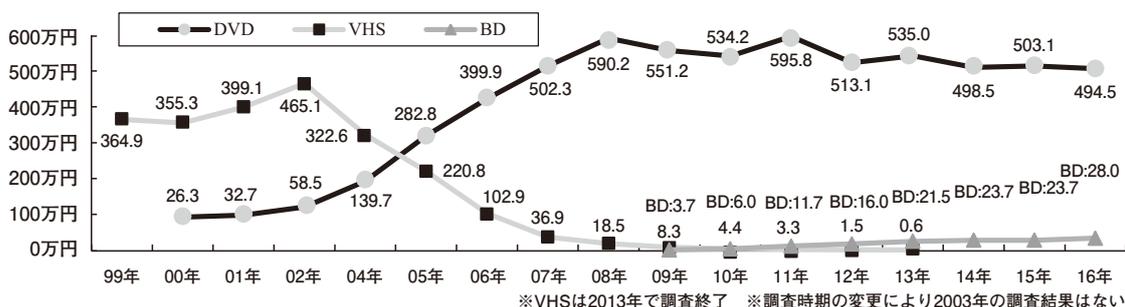


図2. 月平均レンタル総売上における売上規模別店舗数構成比

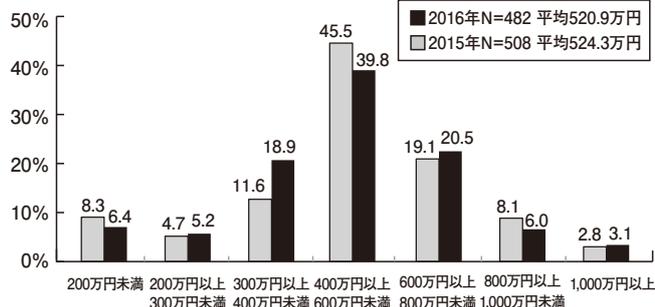


図3. 標準レンタル料金(1泊2日)の推移(消費税を含んだ金額)

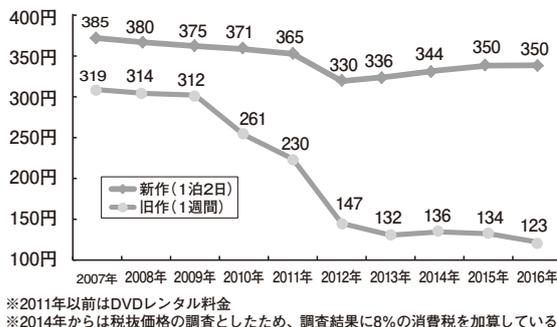
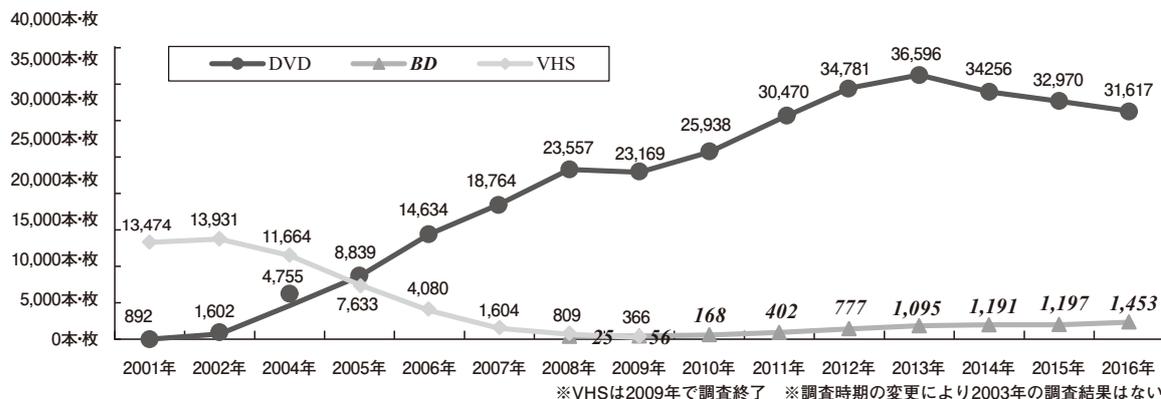


図4. メディア別月平均貸出枚(本)数の推移



### ●DVD貸出枚数は減少傾向、新作・準新作の貸出料金は下げ止まり感

DVD貸出枚数が2013年をピークに減少傾向にあり、月平均貸出枚数は前年比95.9%の31,617枚となった。(図4)

一方、貸出金額単価をみてみると、新作1泊2日の平均は

324円(税抜)で昨年と同額、2泊3日では379円と+2円の上昇となった。準新作の1週間料金は278円で昨年と同額、また延滞料金については、新作・準新作で前年比7円のプラス、旧作で12円のプラスとなった。旧作の1週間料金は114円(税抜)で10円のマイナスとなっており、旧作については低下傾向がみられる。(表1、図3)

# ビデオレンタル店実態調査

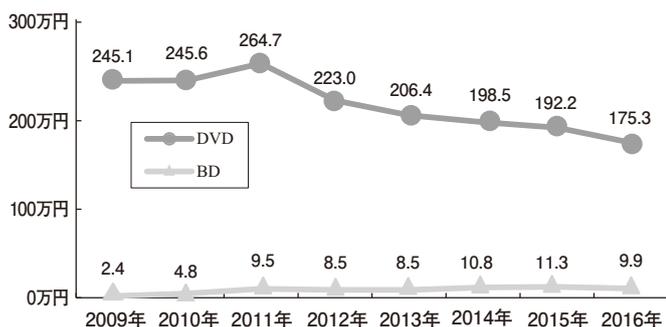
## ●仕入の金額は減少、

### 1枚当たりの単価も下落傾向である

DVD レンタルの仕入動向を見ると、月平均仕入金額は175.3万円で前年比91.2%と5年連続で減少傾向であるのに対し、月平均仕入枚数は2,104枚で前年同様である。

1枚あたりの仕入単価は、月平均仕入金額が最も高かった2011年は1枚あたり2,247円であったが、今年は833円にまで低下している。これは、レベニューシェアリング方式を導入する店舗の比率の高まりならびに導入条件の多様化・複雑化が背景にあるとみられる。(図5)

図5. 月平均仕入金額(上)・枚数(下)の推移



## ●平均会員数は減少傾向にある

平均会員数は前年比96.6%の15,452人となった。会員の男女比は、これまでと同様に男性6割：女性4割といった比率に大きな変動はない。年齢別の会員構成比率を見ると、30代以上の構成比がすべて減少し、15歳未満から20代後半の構成比が上昇している。(図6、図7)

図6. 平均会員数の推移

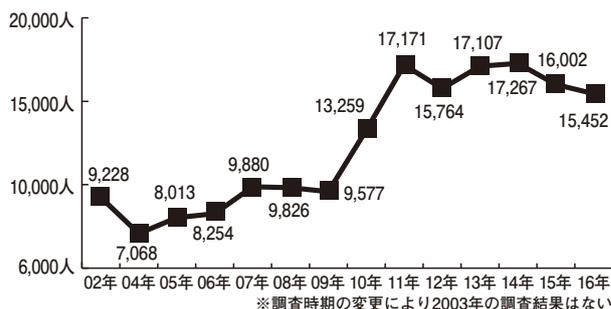
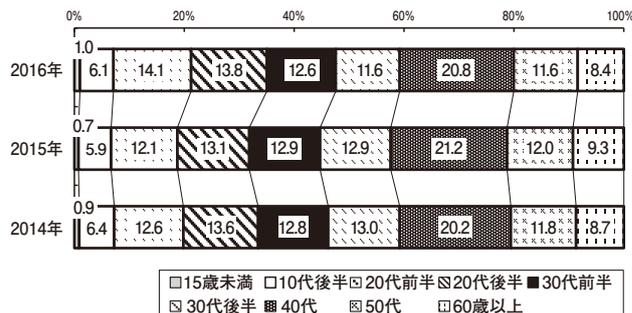


図7. 会員の年齢構成比の推移



## 理事会

### 第359回、第360回定例理事会開催報告

2016年10月4日(火)午後2時から、当協会会議室において、**第359回定例理事会**を開催した。議事の要旨は次のとおり。

#### 決議事項

第1号議案 NPO法人JAVCOM No.146セミナー《近未来映像技術》～時代をよむ!明日はもっと面白い～に対する後援名義使用承認の件・承認

第2号議案 2017年重要会議・行事日程の件・承認

第3号議案 2017年新年賀詞交歓会開催の件・承認

#### 報告事項

1. 各部会・委員会報告について
2. ビデオの日実行委員会経過等報告
3. 2017年西日本合同賀詞交歓会の開催について
4. 知財関係報告
5. ビデオレンタル店実態調査報告について

6. 2016年8月度ビデオソフト売上速報について

7. 2016年8月度映像配信統計報告について

2016年11月1日(火)午後2時40分から、(株)KADOKAWA 富士見ビル会議室において、**第360回定例理事会**を開催した。議事の要旨は次のとおり。

#### 決議事項

第1号議案 定年再雇用関係規定制定の件・承認

第2号議案 理事候補者選出(案)承認の件・承認

第3号議案 臨時総会開催承認の件・承認

#### 報告事項

1. 各部会報告について
2. 事務局職員の退職について
3. 知財関係報告
4. 2016年9月度ビデオソフト売上速報について
5. 2015年9月度の映像配信統計報告について

## jmd社 映像データベースの作品登録状況

DVD・ブルーレイの販売プロモーションを目的に、2004年の12月から映像作品のデータベースの蓄積作業の協力を依頼している(株)ジャパンミュージックデータ(jmd)より、蓄積作業とその活用が順調に行われているとの報告があった。

登録状況は次のとおり。2016年11月1日現在で、JVA加盟社のDVD、UMD、ブルーレイ商品の一般市販映像商品登録数(音楽作品除く)は90,921タイトル(前年登録数86,284、前年比105%)となった。作品詳細は92.3%、ジャケット写真は91%が登録されている。(資料1)

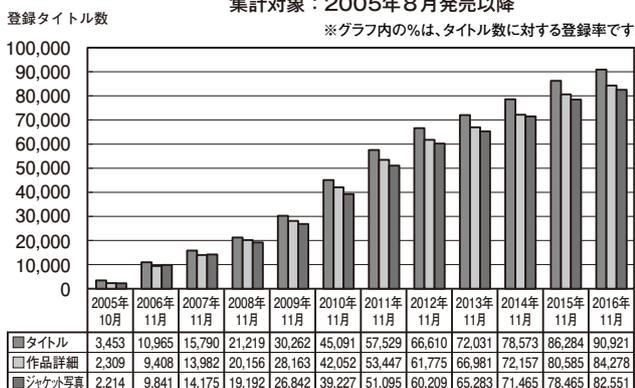
## 資料1

- ◆データ抽出日：2016/11/1
- ◆対象商品：JVA加盟正会員社の一般市販映像商品(DVD、UMD、ブルーレイ)
- ◆対象外：音楽、アダルト、レンタル専用商品、廃盤、権利切れ商品

## 【市販用DVD、UMD、ブルーレイの登録の推移】

集計対象：2005年8月発売以降

※グラフ内の%は、タイトル数に対する登録率です。



また、ブルーレイの一般市販映像商品(音楽作品を除く)数は18,620タイトル(前年登録数16,407、前年比113%)となりブルーレイの登録伸び率は年々増加傾向にある。(資料2)

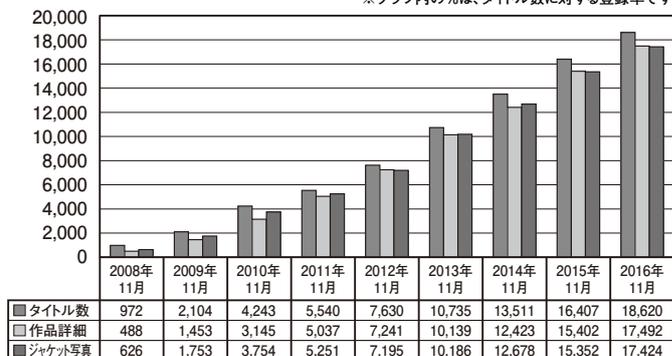
2016年10月末日の時点でjmd映像データ提供先は56社となっている。また、星光堂を經由して(株)DMM.comや(株)ヤマダ電機など13社のサイトでもjmd映像データが活用されている。

## 資料2

- ◆データ抽出日：2016/11/1
- ◆対象商品：JVA加盟正会員社の一般市販映像商品(ブルーレイのみ)
- ◆対象外：音楽、アダルト、レンタル専用商品、廃盤、権利切れ商品

## 【市販用ブルーレイのみの登録数】

※グラフ内の%は、タイトル数に対する登録率です。



【集計対象の変更】2008年、2009年、2010年の実績には「JVA非加盟社」「音楽」「アダルト」のデータが含まれます。

## eメディアセミナー

## 第12回eメディア部会定例セミナーを開催

eメディア部会(栗橋三木也運営委員会委員長(株)KADOKAWA)では、10月28日(金)に第12回定例セミナーを開催した。今回は「AbemaTV」をテーマに、(株)サイバーエージェント執行役員で(株)AbemaTVの編成制作策局局長の藤井琢倫氏と、(株)テレビ朝日総合ビジネス局デジタル事業センターアライアンス事業担当部長の大場洋士氏にご講演頂いた。参加者は37名。

藤井氏は、「AbemaTVは日本最初の広告モデルによる本格的なインターネットテレビサービスだ。現在アプリダウンロード数は1,000万目前で、当面の目標は、1週間で1,000万人が訪れる、マスメディアにふさわしい視聴者を得ることだ。」と話した。

大場氏は、「テレビ朝日はコンテンツ総合企業を目指していく。その中の動画戦略として、Tverやテレ朝動画、KDDIと協業するビデオパスに加え、AbemaTVを開始した。インターネット動画配信を成長事業領域とし、今後も積極的取り組んでいく。」と話した。

## 総務人事委員会

## 2017年度 新入社員合同研修会開催のご案内

総務人事委員会(枇榔浩史委員長 東宝(株))では、正会員社の2017年度新入社員を対象とした、「2017年度 新入社員合同研修会」を開催する。

この研修会は、業界にかかわる知識や理解を深めていただくとともに、同業他社との交流や親睦を通して、今後の業務の一助となればという目的で、一昨年より実施している。参加募集は、12月26日(月)を締切りとし、総務人事委員会と総合連絡委員会を通し行っている。

日程他は以下のとおり。なお、両日とも研修内容は同じ。

## ●日程

- 1 回目：2017年4月6日(木)午後1時30分から17時
- 2 回目：2017年4月21日(金) 午後1時30分から17時

## ●会場 JVA会議室

## ●研修内容(予定)

- 1. 講義(国内・海外市場について、著作権について)
- 2. グループワーク

本件に関するお問い合わせは事務局八十河まで。

# 文化審議会「文化芸術立国の実現に向けた総合的取組の推進へ (仮題) (答申(素案))」への意見を提出

当協会は文化庁官官房政策課が実施した、上記に関する意見募集に対し、以下のような意見書を10月30日(日)に提出した。

## 【意見全文】

著作権を侵害してインターネット上で送信可能化された著作物へのアクセスを誘導するリーチサイトやリーチアプリの提供行為を、著作権のみなし侵害とする等の制度整備を要望いたします。

以下、理由を申し述べます。

### 1. 文化芸術創造の振興強化について

本意見募集の対象である「文化芸術立国の実現に向けた総合的取組の推進へ(仮題)(答申(素案))」(以下「本素案」といいます。)では、「歴史や伝統のある文化芸術を引き続きしっかりと保存・継承し発展させること」に加え、「文化芸術創造の振興も強化すること」を掲げています(7頁)。総合芸術である映画の著作物の著作権者を会員とする弊協会といたしましては、かかる方針で文化政策が推進されることを期待するものです。

### 2. 映画の著作物の民間財としての性質について

ところで、「本素案」8頁では文化芸術は「いわば公共財と言える。」と述べています。

「公共財」について、経済学者・サムエルソンは次のように述べています。

「公共財は、個人がそれを購入する欲求をもつか否かにかんせず、その便益が社会全体に不可分の形で行き渡るところの財貨である。これとは対照的に、民間財は、他者にたいして外部的な便益または費用をもたらすことなく、分割されて異なる複数個人に別々に提供されうる財貨である。公共財の効率的な提供にはしばしば政府の行動を必要とするが、民間財は市場によって効率的に配分される。」(サムエルソン(都留重人訳)『経済学下』〔原書第13版〕(岩波書店、1993年)765頁)

「本素案」8頁で指摘するように、文化芸術はそれ自体が固有の価値を有しています。そして、映画の著作物は私人である映画製作者が製作費を負担し、その責任において公表する表現物で、市場でその固有の価値の実現が図られている商品です。サムエルソンは「公共財の絶好の例は国防である。」(前掲765頁)と述べていますが、このような典型的な公共財とは異なり、民間財としての性格を強く有するものです。

「本素案」17頁では、「文化芸術を一層振興するため」として「公的財政支援のみでなく、文化芸術について、多様な財源を確保」を掲げています。この施策は、外部性その他の理由により市場での価値実現が困難な場面では重要なことだと思います。加えて、民間財としての性格が色濃い文化芸術の振興のためには、市場での固有の価値の実現

をサポートすることも重要だと考えます。そのためには、以下に述べるとおり、不公正な行為によって作出される外部性を排除するための「文化の法的インフラ」(「本素案」19頁)の整備は極めて有効な手段であると思われます。

### 3. リーチサイトによる文化芸術の価値実現の阻害性について

映画の著作物は、その製作に多額の資金を必要とする著作物で、劇場での興行による収入で投下資本を回収できる作品は少なく、DVDやブルーレイ等のパッケージソフトのレンタル、販売、放送等様々な方法で作品を提供しています。そして、今日では映像配信もはじまっています。そして、「一つの経済的主体の行為が他の主体の福利に及ぼす効果で、その効果が金銭的または市場の取引に反映されない場合」(サムエルソン 前掲764頁)という意味での外部性については、著作権法23条1項の公衆送信権(送信可能化権を含む。以下同じ)によって法制度上は除去されています。加えて、映画の著作権者は、技術的保護手段を用いることによって外部性を除去し、市場で投下資本を回収するための努力を尽くしているところです。

しかるに、技術的保護手段を回避して違法に他人の著作物を自動公衆送信する事案が後を絶ちません。そして、それは海外の動画投稿サイトにも数多く行われているところです。

このように違法に送信可能化された著作物であることを熟知して、これをジャンル分けしたりしてリンクを張り、インターネット利用者をその著作物に誘導しているのがリーチサイトです。もちろん、このような行為は現行法上も違法ですが、共犯の従属性や差止請求権について難点があり、著作権者は、権利執行の面で十分な対応が取り難い状況にあります。

このような状況は、適法な配信市場の形成を通じて、市場での著作物の価値実現を図る上で非常に大きな阻害要因となります。

「情報と情報を関連付けるハイパーリンクは情報通信の基幹技術であり、インターネットの利便性はハイパーリンクによってもたらされている。」(インターネットユーザー協会<<https://miau.jp/ja/238>>)としてリーチサイト規制に異を唱える主張もありますが、インターネット上は治外法権であるはずもありません。インターネットという情報通信技術を用いて著作権者の許諾なく著作物を自動公衆送信することが違法であるのと同様、情報通信の基幹技術を悪用して違法な自動公衆送信による法益侵害を補助し、侵害を拡大する行為はあってはならないことです。

したがって、適法な配信市場形成により「文化の花を咲かせるための土台」(「本素案」19頁)として、リーチサイトをみなし侵害とする等の措置を切望するものです。

以上

## 設立 30 周年を迎えて

不正商品対策協議会 事務局長 後藤健郎

不正商品対策協議会(ACA)は、1986年8月7日、わが国における知的財産の保護と不正商品の排除を目的に著作権・商標権の権利者団体が一堂に会して、警察庁の全面的支援のもと設立されました。おかげさまで、本年設立30周年を迎えることができました。

今から30年前、半蔵門会館(現ホテルグランドアーク半蔵門)で山田英雄警察庁長官(当時)はじめ警察庁幹部の出席のもと設立総会が開催されました。当時の設立メンバーは、日本繊維協会、日本音楽著作権協会、日本商品化権協会、日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会(現コンピュータソフトウェア協会)、日本レコード協会、日本ビデオ協会(現日本映像ソフト協会)、そして、被害を受けている欧米の権利者団体として、アメリカのハリウッドメジャーで組織されるMPAA(アメリカ映画協会)とフランスを中心とする高級ブランド品会社で組織されるユニオン・デ・ファブリカンが日本の権利者団体とともに設立メンバーとして参加していたことは画期的でした。そして事務局は日本ビデオ協会(現日本映像ソフト協会)が担当することになりました。

私は入社2年目の職員として総会及び総会后に開かれた設立パーティーのお手伝いに駆り出されました。設立パーティーには警察庁長官、欧米各国大使館、関係者が250名と盛大に開かれ、警察庁そして各団体の錚々たるトップ各位が、高らかに海賊版と偽ブランドの撲滅を宣言されたことに驚きを覚えました。当時の日米経済貿易摩擦など国際的な問題が背景にあり、日本政府・業界は、米国の映画産業、欧州のブランド産業からの知財保護のプレッシャーに対して、真摯に対処し解決することを宣言せざるを得ない事態に追い込まれていたのでしょうか。

当時のビデオ市場の状況を振り返ってみます。1975年にSONYが2分の1インチのβマックスを発売(1時間録画機能で229,800円)し、翌年には日本ビクターがVHSを発売(2時間録画機能で228,000円)しました。これまで公共機関などで業務用に利用されることが多かった録画再生機器(VTR)が、一般家庭用として発売されたというエポックメーキングな商品でした。そのVTRの世帯普及率が10%を超えた1983年には、ハリウッドの映画会社がわが国で初めて家庭内視聴用ビデオのレンタルビジネスを開始します。一方で家電メーカーの系列店をはじめ全国の電器店では、VTRの販促物としてTV番組を無断で録画した海賊版を堂々と店頭で陳列・頒布していました。またその頃から、専門店として出店ラッシュの続くビデオレンタル店では、入会金1万円、レンタル料1泊2日1,000円といった、いまでは考えられないビジネスを展開し、レンタルに供されるのは全て海賊版でした。しかも、ほぼ全店で海賊版をマスターに有料ダビングサービスが行われていました。

偽ブランド品については、1980年代に入りわが国の消費生活が豊かになるにつれて、「お嬢様ブーム」や「女子大生ブーム」を背景に舶来のブランド品を持つことがステータスシンボルとを感じる世相もあり、高級ブランド品に憧れて購入するといった現象が進む一方、それらに便乗した安価な粗悪品の偽物が堂々と日本の街中で販売されるという有様でした。

ブランド品や映画で外貨を稼ぐ欧米諸国は当然のことながら、「日本は自動車、電気製品といった製造業は凄いかもしれないが、商標権や著作権といった知的財産を全く保護しないコピー天国だ!」と批判の声を挙げるようになってきました。

日本政府が種々の対策を講じるなか警察庁では、1986年4月に知的財産権侵害事犯を取締るためのヘッドクォーターとして「不正商品取締官」を新設するとともに、全国の都道府県警察に「生活経済課」を設置し、偽ブランドや海賊版を取締るための体制を整備しました。同年の、警察による事件検挙は、偽ブランド事犯(商標法被疑事件)が1,042件(前年比162%)、海賊版事件(著作権法被疑事件)211件(前年比363%)に上り、この年を契機に全国警察で積極的な事件検挙が行われるようになりました。

また、文化庁によって1988年に著作権法が一部改正され、「海賊版の頒布目的所持」がみなし侵害として規定されました。これにより捜査負担が軽減され、頒布事実ごとに立件せずとも海賊版であることの情を知りながら頒布目的で所持する行為を罰せることとなったため、警察の検挙がさらに進むこととなりました。

一方、権利者側の活動として、映像ソフト業界である日本ビデオ協会とMPAA日本支社である日本国際映画著作権協会(JIMCA)は、全国のレンタル店・電気店を対象に訪店し、著作権侵害である旨の指導・警告や海賊版の任意提出を求める調査活動を推進し、悪質な店舗経営者には一罰百戒の意味合いから刑事告訴するなど地道な努力を重ねていきます。

さらに日本で功を奏した対策として、

- ①警察の捜査は海賊版レンタル店の摘発だけに終わらず、海賊版の流通業者、そして製造本犯の摘発といった突上げ捜査による海賊版ルートの壊滅。
- ②海賊版レンタル店等が刑事摘発された際、経営者等は地元マスコミで実名報道され、所在地域等において社会的制裁を受ける。
- ③刑事摘発された経営者は刑事処分決定後に権利者から損害賠償請求を受け不当利益を追及される。

こうした警察と権利者との官民一体となった対策が上手く連動されたことにより、「著作権侵害は割に合わない」

として組織犯罪や再犯者は激減、日本では短期間の間に、設立総会の宣言通り海賊版(偽ブランドも同様)を撲滅することに成功しました。

それから30年を迎えた今日、経済のグローバル化、そしてデジタル化・ネットワーク化の進展や高機能端末機器の世界的普及などが大きな影響を及ぼし、海賊版や偽ブランドなど知的財産の侵害問題は、大きく変化しました。

侵害されたコンテンツは、いまや国境をいとも簡単に越えて、瞬時に拡散します。その侵害者も、年齢、性別、国籍、プロ・アマを問うことなく個人犯罪として広く浸透しています。もはや一国の問題として解決を図ることは難しく、国際的な連携による具体的対策が求められています。

このような情勢のなか、改めて知的財産に対する意識を高めていく必要性を感じています。特に、知的財産を保護することの大切さについて、ひとりでも多くの子供たちや若者に、「知り」、「学び」、「理解」してもらうことが重要となっています。

ACAでは、そのため2012年から毎年夏休みの期間中に警察庁、文部科学省の支援を受けて、全国の公立・私立の小学生(4年生から)・中学生を対象とした「著作権を守る

う!ポスターコンクール」を開催しています。本コンクールの開催を通じて、子供たちの意識づくりに少しでもお役に立てれば幸いです。

また本年は、設立記念日の8月7日から12月19日の間、「設立30周年記念 模倣品・撲滅キャンペーン」を開催中であり、警察庁と一緒に各種広報啓発活動の実施と警察による知的財産権侵害事犯の取締りの強化を行っています。最終日の12月19日(月)には、千代田区丸の内JPタワーホールにおいて、「設立30周年記念 アジア知的財産権シンポジウム2016」を開催し、グローバル社会における知的財産の保護と不正商品の排除をテーマに掲げ、関係者の皆さまから最新の取り組みの紹介や種々の討論を行います。

(<http://www.aca-30th-campaign.net/event.html> 参照)

今日のボーダーレス化かつ潜在化が進む知的財産の侵害に対して、我々は30年前の設立総会と同様に高らかに撲滅することを宣言できるのか、そしてその宣言を成し遂げることができるのか・・・、問われるところです。

設立当時の原点に立ち戻り、関係者一同の英知を結集し、これからも警察庁とともに地道に諸活動を継続してまいります。皆さまからの変わらぬご支援のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

## コンテンツ海外流通促進機構

### 中国の剣網行動

#### ■剣網行動とは

中国には、政府主催の「剣網行動」と呼ばれる、海賊版対策がある。国家版權局、公安部、工業情報化部、国家インターネット情報弁公室の知的財産関連4部門が共同して実施する取締り特別キャンペーンの総称であり、中国におけるインターネット上の著作権侵害の排除を目的としている。2005年から開始され、今年で12回目を数える。

CODAは2012年より、この剣網行動に対して、国家版權局に情報提供を行っている。日本の消費者を対象にした海賊版eコマースサイトやマンガの違法アップロードサイトについて申立てを続けてきたが、サーバーが中国国外に存在することなどを理由に成果を挙げられていない。

そこで、2015年から申立て方針を変更し、中国国内の侵害行為であり、国家版權局が所管する範囲に限定して情報提供することにした。

#### ■違法アップロードに対するCODAの申し立て

CODAは、中国、韓国のUGCサイト等に対し、クロウリング技術によるサイト監視とフィンガープリント技術による動画認識(照合)を組み合わせた「自動コンテンツ監視・削除センター」を運用している。この中で、日本のアニメ・テレビ番組等を違法に配信しているサイトのうち、削除に応じない、削除率が低いなどの悪質な中国の9つの

サイトに関する情報提供を行った。国家版權局は早速に当該サイトに行政指導を行い、当該サイトの改善が認められるという成果を収めることができた。

2016年も同様に情報提供を行い、さらに悪質なサイトに対しては行政投訴を実施することとなっている。

#### ■剣網行動の内容の変化

2016年8月16日、国家版權局は、「剣網2016」で摘発された著作権侵害事件8件を発表した。2016年は、文学作品の違法配信、海賊版書籍の販売、海賊版ゲームの配信、オンラインゲームの違法サーバーの運営など、その対象は多岐に渡っている。また、今後も積極的に摘発が行われるよう、権利者や集中管理団体に対し、協力を求めると報じられている。

また国家版權局版權管理司于慈珂司長は8月20日に、中国版權協会主催の「アプリケーションおよびオンライン広告の著作権侵害問題に関するシンポジウム」において、北京市の裁判官、清華大学法学院の副院長、弁護士、騰訊(テンセント)の担当者と共に、ディープリンクの問題について「直接的な侵害行為である」との討論を行い、「アプリケーションに関わる著作権侵害を剣網の取締り対象としている」と述べた。今後は剣網行動の対象はさらに広がっていくことが期待される。(執筆:CODA事務局)

## ●2017年新年賀詞交歓会開催のご案内

毎年恒例のJVA新年賀詞交歓会を下の日程で開催いたします。会員社の皆様をはじめ、関係官庁、関係団体、業界関連の皆様にお集まりいただき、2017年の新年の門出を皆様とご一緒に迎えたく存じます。ご来場をお待ちしております。

- 日時 2017年1月6日(金)11時30分開宴(会場11時)
- 場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 3F  
東京都千代田区九段北4-2-25  
TEL 03-3261-9921  
URL <http://www.arcadia-jp.org>
- 会費 お1人様、1万円(ご招待者は除く)

なお、会員社の皆様へは総合連絡委員の方を窓口として、関係各位にはご招待状を送付して既にご案内しております。この件に関するお問合せは、管理部伊藤まで。

(電話03-3542-4433)

※なお、事前のお申込みがない場合にはご入場をお断りさせていただく場合がありますのでご了承ください。

## ●西日本合同賀詞交歓会開催のご案内

JVA・関西地区連絡協議会・中部地区連絡協議会・日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合(CDVJ)は、「西日本合同賀詞交歓会」を開催いたします。

西日本の映像ソフト業界関係者が一堂に会する新年会として2016年から合同主催で行っているものです。

2017年新年の門出を共に祝い、情報交換や交流・親睦を深めていただく場としたいと存じます。

- 日時 2017年1月12日(木)12時30分より14時
- 場所 ホテル メルパルク大阪  
大阪府大阪市淀川区宮原4-2-1  
電話：06-6350-2111(代表)  
<http://www.ikyuu.com/biz/00080675/access/>  
(2016年と会場が異なります、ご注意ください)
- 会費 お1人様、5,000円(※会場にてご精算下さい)

※なお、西日本合同賀詞交歓会に関するお問合せは、各地区連担当者又はJVA事務局八十河まで。

## 2017年 重要会議・行事日程

月	理事会	総合連絡委員会	業務部会幹事会	その他
2017年1月	休会	休会	26日(木)16時30分	新年賀詞交歓会 6日(金)11:30～アルカディア市ヶ谷
2月	07日(火)14時00分	14日(火)16時00分	23日(木)16時00分	-
3月	07日(火)14時00分	14日(火)16時00分	30日(木)16時00分	-
4月	04日(火)14時00分	11日(火)16時00分	27日(木)16時00分	懇親ゴルフコンペ
5月	09日(火)14時00分	16日(火)16時00分	25日(木)16時00分	-
6月	08日(総会終了後)	13日(火)16時00分	29日(木)16時00分	総会
7月	04日(火)16時30分	11日(火)16時00分	休会	役員懇親会(理事会終了後)
8月	休会		31日(木)16時00分	-
9月	05日(火)14時00分	12日(火)16時00分	28日(木)16時00分	秋の懇親会 (総合連絡委員会終了後)
10月	03日(火)14時00分	10日(火)16時00分	26日(木)16時00分	役員懇親ゴルフ会
11月	07日(火)14時00分	14日(火)16時00分	30日(木)16時00分	
12月	05日(火)14時00分	12日(火)16時00分	休会	-
2018年1月	休会	休会	25日(木)16時30分(仮)	新年賀詞交歓会 10日(水)11:30～アルカディア市ヶ谷



# リレーエッセイ 122

ユニバーサルミュージック(同) 喜本 孝 氏からのご紹介

## ● 嶋野 典和 氏

(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ 取締役 マーケティング本部 本部長・デジタルセールスグループ部長(兼)

### 「猫と犬」

2008年10月のとある深夜、自宅の自転車置き場の隅に「汚れたモップの先」が捨ててありました。通行人の誰かが捨てていったのか、近所から風で飛んできたのでしょうか。「・・・明日かたづけよう」と思いつく玄関に向かうと「汚れたモップの先」がノロノロと動き出してこちらに来るではありませんか・・・? 正体は「汚れた猫」だったのです。肋骨が浮くほどにガリガリで、目ヤニやひっかき傷で顔は雑巾状態、サイズの合わない首輪をしていたと思われる首は抜毛で露出した皮膚が見事に首回りを一周しております。取り急ぎ手近の段ボール箱に新聞紙やらTシャツを敷き、牛乳(本当はダメ)やら水を与えるもあまり反応は無く、やっとひと舐めた後は諦めたような顔つきで寝てしまいました(死んだ?)。翌日、まだ生きていたようなので近所のスーパーから拝借した買い物カゴに入れて動物病院につれて行くと「かなりの衰弱でここ2~3日がヤマ」とドラマのような一言。「先生! 治療費はかかっても構いません! どんなことをしてもこいつを助けてやって下さい!」とは言えず、「え〜!? ウチのじゃないんですけど」・・・。しょうがないといふかなんとなくといふか「乗り掛かった船」と腹を括り、病院で処方された薬を水で柔らかくした餌に混ぜ、背中に蚤取り薬を注入する事4日間。下痢状だった便が丸々となって登場した際は思わず写メを撮っておりました(笑)。首輪跡から見ても近所の飼猫だったのは間違いないので交番へ相談に行くと「それらしき捜索届は出ていないので保健所に引き取ってもらう事になります」という塩対応。懸命に探している(筈) 飼主がそのうち此処に辿り着いてくれるだろうと思いつつの保護期間はもう8年を過ぎようとしております・・・。

そしてこの同時期に、近所のバイク屋さんに大きなラブラドル・レトリバーが迷い込んで来ました。堂々とした体格は黒光りして艶々で、立派な首輪には名前まで書かれております。そのうち勝手に飼主の元に帰って行くだろうと思っ

も一向に帰るそぶりを見せないどころか来客者が来る度にスリ寄ったり尻尾を振ったりでご機嫌なお愛想を振りまくりです。一応、交番には届け出たものの対応はまた前述同様なのでこちらもまた保護開始でございます。猫と違い犬は散歩に行かなくてはなりません、最初からリード紐なんてしなかったどころか、1週間後には首輪さえも外しちゃってました。いつでもどこにでも好き勝手に走り出して行ける完全フリーな筈の彼は何故か? おとなしくバイク屋さん日々散歩をしていたのです。

「彼は何故、帰らないのか?」「飼主は真剣に探しているのか?」という会話がお客様同士で交わされるようになった頃、なんと彼は5匹の子犬を出産したのです(・・・メスだったのね)。考えたくはありませんが妊娠を知った飼主から捨てられた犬は「ここで生むしかない」と決意し、覚悟の居座りだったのではないのでしょうか(涙)。

途方に暮れるバイク屋さんとは反対にお客さん達は大喜びで代わる代わるに争うように世話を焼き、それぞれがネットや専門書で子犬について猛勉強。付け焼刃のにわか知識を得ては子犬達の為にイソイソと通い詰めます。そして2か月後、希望者殺到の中、厳正なる選考と同居者(家族)全員の同意書提出をクリアした(モノ好きで愛すべき)5人に子犬達はそれぞれ無事引き取られていったのでございます。

我々が同時期に遭遇したこれらの件は一部の稀なケースではなく、実は現在の日本では犬だけでも年間5万匹以上(1)もが捨てられており、その内の約2万匹が保健所や自治体で殺処分されてしまっているそうです。しかもそれは把握されている数字だけですので、表に出てこない非法な部分ではもっと大きな数字なのでしょう。身勝手に馬鹿な飼主とそれらを受け入れる体制が確立してしまっているこの社会では今日もまた殺処分が日常的に行われているのです。人間が繁殖させて人間が殺処分する。そんな権利があるんですかね?

### ▼日誌に見る協会の動き

#### 【10月】

- 3日 ACA企画広報部会
- 4日 定例理事会
- 5日 マーケティング委員会
- 7日 権利者団体対応委員会  
著作権部会
- 11日 総合連絡委員会
- 12日 ネット協賛
- 14日 業務使用対策委員会
- 20日 ユーザー動向調査G  
市場活性化キャンペーンWG
- 21日 マーケティング委員会  
懇親ゴルフ会

- 27日 業務部会幹事会  
中部地区連絡協議会啓発  
キャンペーン(~28日)

- 28日 eメディア部会定例セミナー

- 31日 JASRAC協議

#### 【11月】

- 1日 定例理事会  
「ビデオの日」記念日制定イベント
- 2日 レンタル運用委員会  
マーケティング委員会
- 4日 権利者団体対応委員会  
著作権部会
- 8日 総合連絡委員会

- 10日 役員懇親ゴルフ大会
- 11日 業務使用対策委員会
- 15日 配信マーケティング委員会
- 16日 市場活性化キャンペーンWG
- 17日 関西地区連絡協議会総会
- 21日 東北地区連絡協議会総会
- 24日 総務人事委員会  
マーケット調査委員会ユーザー  
動向調査G  
業務部会幹事会
- 29日 市場活性化キャンペーンWG

### ▼JVA事務局人事

退職  
(2016年11月30日付)  
業務部次長 駒崎 武一

# 統計

JVA会員によるメーカー出荷段階の金額、数量について集計した統計調査

## 2016年9月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	9 月 実 績 (金額単位:百万円 数量単位:千本・千枚)								1 月 ~ 9 月 の 累 計									
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比	
販売用(個人向)	4,223	47.2%	85.6%	1,232	27.8%	77.4%	501	108.0%	増減 11社 19社 その他 3社	50,650	59.5%	97.7%	15,029	38.5%	87.8%	3,796	87.7%	
特殊ルート	7	0.1%	-	90	2.0%	-	15	0.0%		546	0.6%	-	2,341	6.0%	-	452	0.0%	
レンタル店用	4,635	51.9%	96.4%	3,059	69.0%	116.1%	519	114.6%		33,029	38.8%	89.3%	20,754	53.2%	102.5%	3,439	88.7%	
業務用	74	0.8%	74.0%	50	1.1%	146.1%	19	172.7%		931	1.1%	131.7%	914	2.3%	208.1%	229	77.9%	
DVDビデオ	8,939	57.5%	90.8%	4,431	76.0%	104.0%	1,054	113.6%		増減 15社 12社 その他 3社	85,156	57.4%	95.1%	39,038	74.5%	103.2%	7,931	93.3%
販売用(個人向)	6,218	94.0%	82.3%	1,138	81.3%	91.5%	318	128.2%			59,922	95.0%	97.2%	11,613	86.8%	93.5%	2,357	101.9%
特殊ルート	13	0.2%	-	-2	-	-	3	0.0%			322	0.5%	-	78	0.6%	100.0%	26	0.0%
レンタル店用	379	5.7%	115.9%	262	18.8%	113.9%	19	105.6%			2,763	4.4%	103.8%	1,676	12.5%	112.9%	150	79.4%
業務用	7	0.1%	36.8%	1	0.1%	17.5%	0	-		87	0.1%	43.2%	19	0.1%	35.5%	0	0.0%	
ブルーレイ (ULTRA HD Blu-rayを含む)	6,617	42.5%	83.7%	1,399	24.0%	94.6%	340	127.8%		63,094	42.6%	97.8%	13,386	25.5%	95.9%	2,533	101.2%	
合計	15,556	100.0%	87.7%	5,830	100.0%	101.6%	1,394	116.8%	148,250	100.0%	96.2%	52,424	100.0%	101.3%	10,464	95.1%		

◎今月の売上報告社数……31社(\*前年同月の報告社数31社) 無回答社……1社 ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他は増減なし、又は前年同月の報告がない場合  
◎「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。ただし、「レベニューシェアリングのみ」でリリースされる作品数は合計値に加算されている。  
◎雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるビデオソフトの出荷について「特殊ルート」として本統計調査に加えている。

## 2016年10月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	10 月 実 績 (金額単位:百万円 数量単位:千本・千枚)								1 月 ~ 10 月 の 累 計									
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比	売上金額の増減社数	金額	構成比	前年同期比	数量	構成比	前年同期比	新作数	前年同期比	
販売用(個人向)	4,055	52.4%	82.0%	1,444	34.9%	89.0%	313	78.8%	増減 11社 17社 その他 2社	54,705	58.9%	96.4%	16,473	38.2%	87.9%	4,109	87.0%	
特殊ルート	139	1.8%	-	101	2.5%	-	34	0.0%		685	0.7%	-	2,442	5.7%	-	486	0.0%	
レンタル店用	3,484	45.0%	76.1%	2,578	62.4%	104.6%	450	164.8%		36,513	39.3%	87.8%	23,332	54.0%	102.7%	3,889	93.7%	
業務用	58	0.7%	80.3%	9	0.2%	57.9%	8	27.6%		989	1.1%	127.0%	923	2.1%	203.0%	237	73.4%	
DVDビデオ	7,736	59.0%	80.6%	4,132	77.6%	100.7%	805	115.2%		増減 11社 16社 その他 3社	92,893	57.6%	93.7%	43,169	74.8%	103.0%	8,736	95.0%
販売用(個人向)	5,005	91.8%	75.6%	1,039	85.2%	74.4%	231	86.5%			64,926	94.8%	95.1%	12,651	86.8%	91.6%	2,588	100.3%
特殊ルート	-85	-	-	-29	-	-	1	0.0%			237	0.3%	-	49	0.3%	100.0%	27	0.0%
レンタル店用	264	4.8%	68.6%	160	13.1%	86.8%	18	100.0%			3,027	4.4%	99.4%	1,836	12.6%	110.1%	168	81.2%
業務用	182	3.3%	165.4%	21	1.7%	940.8%	0	-		269	0.4%	126.4%	40	0.3%	70.9%	0	0.0%	
ブルーレイ (ULTRA HD Blu-rayを含む)	5,366	41.0%	76.5%	1,190	22.4%	75.2%	250	87.7%		68,460	42.4%	95.7%	14,576	25.2%	93.8%	2,783	99.8%	
合計	13,102	100.0%	78.9%	5,322	100.0%	93.6%	1,055	107.2%	161,353	100.0%	94.5%	57,745	100.0%	100.5%	11,519	96.1%		

◎今月の売上報告社数……31社(\*前年同月の報告社数31社) 無回答社……1社 ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他は増減なし、又は前年同月の報告がない場合  
◎「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。ただし、「レベニューシェアリングのみ」でリリースされる作品数は合計値に加算されている。  
◎雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるビデオソフトの出荷について「特殊ルート」として本統計調査に加えている。



# ビデオの楽しさ、再発見!

## 11月3日は ビデオの日

©2016「ビデオの日」実行委員会



1996年11月にDVDが発売されて、

今年で20年。

2006年11月にブルーレイが発売されて、

今年で10年。

それぞれの誕生日を記念して、

11月3日を「ビデオの日」といたします。

11月のお休みの日には、おうちでゆっくりと

ビデオ鑑賞などはいかがですか?

# 一般社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名(五十音順) 2016年12月1日現在

## ■ 正会員(29 社)

アスミック・エース(株)  
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)  
エイベックス・ピクチャーズ(株)  
(株)NHK エンタープライズ  
NBC ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)  
(株)KADOKAWA  
ギャガ(株)  
キングレコード(株)  
(株)JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント  
(株)小学館  
松竹(株)  
(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント  
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント  
(株)第一興商  
TC エンタテインメント(株)  
東映ビデオ(株)  
東宝(株)  
東宝東和(株)  
(株)東北新社  
20世紀フォックス  
ホームエンターテイメントジャパン(株)  
日活(株)  
(株)バップ  
(株)ハピネット  
バンダイビジュアル(株)  
(株)ポニーキャニオン  
ユニバーサルミュージック(同)  
(株)よしもとアール・アンド・シー  
リバプール(株)  
ワーナー ブラザース ジャパン(同)

## ■ 協賛会員(19 社)

(株)アニプレックス  
(株)一丸印刷所  
(株)IMAGICA  
エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ(株)  
カルチュア・エンタテインメント(株)  
(株)キュー・テック  
(株)金羊社  
(株)ケンメディア  
(株)ジャパン・ディストリビューションシステム  
(株)星光堂  
ソニー PCL (株)  
東芝デジタルフロンティア(株)  
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ  
日本出版販売(株)  
日本レコードセンター(株)  
(株)博報堂 DY ミュージック & ピクチャーズ  
(株)富士フィルムメディアクレスト  
(株)ムービーマネジメントカンパニー  
メモリーテック(株)